

特記仕様書【土木工事編】

建設業のイメージアップについて

＜静岡市1現場1公開・イメージアップPR作戦事業＞

＜静岡市女性環境整備 ポジティブアクション事業＞

1. 総括基準

(1) 本工事は、イメージアップ（**現場環境改善**）に要する費用を計上している。

イメージアップ経費は建設業のイメージアップ活動に充当するものとする。建設業のイメージアップは、地域や一般社会の建設業に対するマイナスイメージを払拭することによって、建設業の担い手確保・育成および健全な発展、そして公共事業の円滑な執行に資することを目的とする。受注工事の施工に際してはこの趣旨を理解し、監督員と協議して地域との相互理解、労働環境の改善等について状況に合わせた創意工夫を發揮し、適正なイメージアップ計画を策定し実施するものとする。

(2) 具体的な内容、実施時期を施工計画書に記載し監督員と協議の上決定するものとする。

(3) 単年度工事は工事完了後、複数年工事は年度ごとに担い手確保・育成事業が確認できる実施写真等、実施状況を確認できる資料を添付の上、報告書（**様式は、担い手確保・育成ホームページよりダウンロード（<http://ninaite.jp>）**）を監督員に提出すること。また、**電子媒体にて技術政策課へ提出（提出先：gijutsuseisaku@city.shizuoka.lg.jp）**するものとする。また、具体的な活動実施の前に監督員に報告し、監督員は技術政策課に連絡をするものとする。

(4) イメージアップ活動のうち、**上記（3）の報告書等を参考に**建設業における担い手確保・育成やイメージアップに大きく貢献があった取り組みを讃え、建設現場ごとの創意工夫とPR効果向上を図った表彰制度を平成29年度から実施している。

2. 技術基準

イメージアップの実施については、『静岡市土木工事共通仕様書』第1編1-1-29第7項及び以下に基づいて履行するものとする。

(1) イメージアップは、別表1の内容の内、原則として各計上費目ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5項目以上を実施するものとし、**そのうち3項目以上については**担い手確保・育成事業に効果のある取り組み（別表2参照）を実施するものとする。また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施費目数及び実施内容を変更しても良い。

なお、イメージアップの具体的な内容は、すでに一般化している美装化などしないこと。

別表1

計上費目	実施する内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等

安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報器等） 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献

(2) 以下項目に係るイメージアップは、受注者が自主的に判断し、自らの負担で実施することを原則とする。

- ・作業服
- ・室内装飾品等

(3) 柵等図柄、規格等

バリケード等を一般交通の用に供する場所に設置する場合は、バリケード等の設置目的を損なわないこと。

参考図書：「建設工事公衆災害防止対策要綱の解説（土木工事編）」

別表 2

<p>A. 【建設業の担い手確保及び育成に関する取組み事業の定量的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆定量的な効果の実現 1) 広く多くの方に建設業の担い手確保及び育成に関する取組み事業を開催 2) 少人数ではあるが、専門的な講座を開催 3) 担い手の親にアピールする事業や親子参加事業など親世代の参加を促す取組み ◆効果的な広報PRの実現 4) 新聞などメディアを活用したPR（有無、回数）を実施 5) 学校新聞などで生徒の親への建設業の担い手確保及び育成に関する取組み事業をPR
<p>B. 【建設業の担い手確保及び育成に関する取組み事業の実質的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆来て見てさわって建設業を感じてもらう（身近に感じてもらう）取組み 6) 建設業を身近に感じさせる興味を引く取組みを実施 7) 重機への興味を湧かせる取組み 8) 積極的に現場公開（大きなことではなく回数や気軽に覗ける体制など）を実施 ◆建設業の重要性を理解 9) 建設業の役割・重要性を伝える工夫（通常時） 10) 建設業の役割・重要性を伝える工夫（災害時） ◆技術の伝承とすばらしさ 11) ICT事業の紹介やICT機器の体験会等を実施 12) 職人技や最先端技術の紹介や体験会等を実施 ◆職場環境（イメージ改善） 13) 3Kイメージの改善事例を紹介 14) 働きやすい仕事であることをPR 15) 女子でも働きやすい業界であることを紹介（現場見学など） ◆女性の活躍 16) 女性も活躍できる仕事であることをアピール

- 17) 男勝りの女性でなくても活躍できる事例を紹介
- ◆興味をそそる取組み
- 18) 専門的な体験や授業を実施
- 19) 実験などを体験させて興味を引かせる取組み
- ◆対象者への興味を引く広報活動
- 20) 建設業の仕事内容が分かりやすいリーフレットなどの教材を作成
- ◆対象者以外への広報活動
- 21) ホームページや現場の掲示板等を利用した広報（重要性・3K 払拭などすべて。こんな工事をしていますは×）を実施
- ◆親への理解促進
- 22) 親も参加できるプログラムを計画し実施（親子参加、親だけの参加）
- ◆就職サポート
- 23) 就職した際のイメージを伝える事業を紹介
- 24) 就職した時のイメージを空想させる取組み
- 25) この仕事をやりたいという動機付けを促す取組み
- ◆建設業に興味のある方へステップアップ講座等
- 26) ステップアップ（段階的に仕事の内容が理解できる）体制の講座を開催
- 27) 興味のある人を対象としたステップアップ（事業）体制の用意
- ◆職場体験や職業への理解促進
- 28) インターンシップ体験を企画し実施
- 29) 首都圏から大学生を呼込む事業を実施
- ◆学校や地域などの団体の取り込み
- 30) 学校の総合学習などの授業とコラボした事業を実施
- 31) 学校などと協同した取組み（職業体験など）を実施
- 32) 地域の方々を対象に、見学会や勉強会などを実施
- ◆ICTなどの最新技術を利用した興味を引かせる仕組み（リーフレットのICT化など）
- 33) 先進技術を導入するなどスマホ時代の若者に興味を引かせる効果を実現